

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	正常妊娠・分娩への看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2学年		学期及び曜時間	前期	教室名	新館2階/3階
担当教員	大辻 見枝子 村田 紋子	実務経験と その関連資格	看護師、助産師 看護師、助産師として24年総合病院勤務、助産師学校専任教員経験あり、看護学修士			
《科目目標》 1. ウェルネス志向を用いて、正常なマタニティサイクルを理解することができる。 2. 正常な経過をアセスメントするために必要な看護技術を、タスクレーニングによって習得することができる。						
《成績評価の方法と基準》 課題10%、終講試験90% 【評価基準】 優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 小林康江・中込さと子・荒木奈緒 編:ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、メディカ出版、2026 荒木奈緒・中込さと子・小林康江 編:ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術、メディカ出版、2026 ナーシング・グラフィカDVD 母性看護技術、藤本紗央里・大平光子、メディカ出版 パワーポイント、胎児・新生児人形、ファントムを適宜使用。分娩DVD視聴。 参考図書:佐瀬正勝:ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図、医学書院、2022						
《授業外における学習方法》 1) 予習においてはテキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にして講義に臨む。 2) 技術演習においては援助計画を立案し、関連動画を視聴のうえ自己練習で実践のイメージをつけて臨む。 3) 復習においてはテキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。						
《履修に当たっての留意点》 1) 母性看護学概論で履修した内容を関連付けながら、正常なマタニティサイクルの理解の基礎とする。 2) 周産期にある対象に適切なコミュニケーション技術を用いながら、尊厳をもって実践する。 3) 講義と演習で得られた知識・技術を、対象理解のためのアセスメントに繋げ、母性看護援助論・実践論の基礎としていく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊婦の看護が理解できる	母性看護学② p18-43 パワーポイント	【関連動画】 ・妊娠初期の発達 10 ・胎児の発育とwell-beingの評価:NST 49 ・妊婦ジャケット着用体験 61	
		各コマにおける授業予定	マタニティサイクルとウェルネス 妊娠期間とネーゲル概算法 妊娠期の身体的・心理的・社会的特性 妊娠期の経過と胎児の発育			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊婦の看護が理解できる	母性看護学② p43-79 パワーポイント 胎児モデル	事前学習 ・妊娠各期のマイナートラブル ・レオポルド、妊婦健診、NST、バースプラン	
		各コマにおける授業予定	妊娠各期のマイナーとラブルとケア 妊娠各期のアセスメント(レオポルド・妊婦健診・NST) バースプラン			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	妊婦・産婦の看護について実践できる	母性看護学③ p23-34 p77-115	課題① レオポルド触診法・子宮底・腹囲測定の手順書作成	
		各コマにおける授業予定	・妊婦体験、レオポルド触診法・子宮底・腹囲測定 ・産痛緩和・呼吸法・マッサージ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	産婦の看護について理解できる	母性看護学② p133-170 パワーポイント 骨盤模型 胎児人形	【関連動画】 ・分娩機転 125 ・早期母子接触にみる出生直後の新生児行動 146	
		各コマにおける授業予定	・分娩の定義と生理 ・分娩期の身体・心理・社会の特性 ・バースプラン・親役割支援			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	産婦の看護について理解できる	母性看護学② p133-170 パワーポイント 骨盤模型 胎児人形	事前学習 ・産痛緩和、呼吸法、マッサージ	
		各コマにおける授業予定	・分娩期のアセスメントとケア ・産痛・呼吸法・マッサージのケア ・産婦および家族のニーズ			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 産褥期の正常な経過	母性看護学② p215-232	授業ノートの作成
		各コマにおける授業予定 ・産褥期の生理(全身の変化、生殖器の変化) ・褥婦と家族の心理社会的変化		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 褥婦のアセスメントの視点と看護が理解できる	母性看護学② p233-236、p244-247 母性看護学③ p139-155	授業ノートの作成
		各コマにおける授業予定 ・褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 ・親になることへの看護 ・産褥期のヘルスアセスメント(全身状態、子宮復古、乳房の観察)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 新生児の生理について理解できる	母性看護学② P298-313	授業ノートの作成
		各コマにおける授業予定 ・新生児とは、生理的特徴 ・新生児のアセスメント ・スクリーニング検査		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 新生児期のケアについて理解できる	母性看護学② P314-322	授業ノートの作成
		各コマにおける授業予定 ・出生直後のケア ・出生後24時間以内のケア ・24時間以降から退院に向けたケア		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 新生児期のケアを実施できる①	母性看護学③ P185-230 新生児人形 新生児用聴診器 メジャー	課題② 以下の手順書作成 ・バイタルサイン測定 ・全身観察 ・授乳、排気 ・抱っこ技術・おむつ交換、衣服の交換
		各コマにおける授業予定 ・新生児の環境調整 ・新生児のバイタルサインと全身観察 ・授乳、排気方法 ・抱っこ技術・おむつ交換、衣服の交換		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 母乳育児と看護について理解できる	母性看護学② P.251-282 母性看護学③ P167-171	授業ノートの作成
		各コマにおける授業予定 ・乳房の構造と機能・乳汁分泌メカニズム ・新生児の生理機能と乳汁分泌メカニズムに基づいた母乳育児支援 ・母乳育児支援に役立つ情報 ・授乳姿勢		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 新生児のケアを実施できる②	母性看護学③ P.298-322	課題③ 沐浴の援助計画 技術練習
		各コマにおける授業予定 ・沐浴		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 産後に生じやすい異常が理解できる	母性看護学③ P.298-322	授業ノートの作成
		各コマにおける授業予定 子宮復古不全、分娩後異常出血、深部静脈血栓症、産褥熱、産褥精神障害		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 退院後の生活にむけた健康指導が理解できる	母性看護学② P.237-239 P.248-249	授業ノートの作成
		各コマにおける授業予定 ・産後の活動と安静 ・産婦健康診査 ・褥婦への社会支援と手続き		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 終講試験	筆記試験用紙	
		各コマにおける授業予定 終講試験 まとめ		